

・ 日 汉 对 照 ・



赤いろうそくと人魚

# 红蜡烛与美人鱼

上海译文出版社

# 红蜡烛与美人鱼

[日]小川未明等著

张 竞 孙守铮等译

惠荻生 注释

上海译文出版社

日 汉 对 照  
**红蜡烛与美人鱼**  
[日]小川未明等著  
张 竞 孙守铮等译  
惠萩生 注释

---

上海译文出版社出版  
上海延安中路 955 弄 14 号

新华书店上海发行所发行  
江苏南漕印刷厂印刷

---

本 787×960 1/32 印张 8.75 字数 138,000  
1986 年 12 月第 1 版 1986 年 12 月第 1 次印刷

印数: 0.001—5.000 册

书号: 9188·312 定价: 1.55 元

## 内 容 提 要

本书收有小川未明、浜田广介、宫泽贤治、新南美吉等日本著名童话作家的十篇童话。其中包括《红蜡烛与美人鱼》、《牛女》、《哭泣的红鬼》、《夜魔之星》和《权狐》等作品。这些作品文字优美，语言精炼，题材新颖，寓意深刻，堪称日本童话的佳作。

## 目 录

|              |         |
|--------------|---------|
| 红蜡烛与美人鱼····· | ( 2 )   |
| 牛女·····      | ( 38 )  |
| 野蔷薇·····     | ( 64 )  |
| 小针的声音·····   | ( 76 )  |
| 黑樵夫和白樵夫····· | ( 100 ) |
| 哭泣的红鬼·····   | ( 124 ) |
| 龙的眼泪·····    | ( 160 ) |
| 夜鹰之星·····    | ( 190 ) |
| 橡实和山猫·····   | ( 216 ) |
| 权狐·····      | ( 248 ) |



# 红蜡烛与美人鱼

# あか <sup>にんぎょ</sup> 赤いろそくと人魚

おがわみめい  
小川未明

—  
<sup>にんぎょ</sup> 人魚は、<sup>みなみ</sup> 南の<sup>ほう</sup> 方の<sup>うみ</sup> 海にばかりすんでいるので  
はありません<sup>きた</sup> 北の<sup>うみ</sup> 海にもすんでいたのであ  
ります。

<sup>ほつほう</sup> 北方の<sup>うみ</sup> 海は、<sup>いろ</sup> 青<sup>あお</sup>うございました<sup>2</sup>。あると  
き、<sup>いわ</sup> 岩の<sup>うえ</sup> 上に、<sup>おんな</sup> 女の人魚<sup>にんぎょ</sup>があがって、あたりの  
<sup>け</sup> 景色<sup>しき</sup>をながめながら<sup>やす</sup>休んでいました。

<sup>くもま</sup> 雲間から<sup>つき</sup> もれた<sup>ひかり</sup> 月の光がさびしく、<sup>なみ</sup> 波<sup>うえ</sup>の上を  
て照らして見<sup>み</sup>ていました。どちらを<sup>うご</sup>見てもかぎりない、  
ものすごい<sup>なみ</sup> 波が、うねうねと動いている<sup>3</sup>のであ  
ります。

なんという、さびしい<sup>け</sup> 景色<sup>しき</sup>だろう<sup>4</sup>と、<sup>にんぎょ</sup> 人魚は  
<sup>おも</sup> 思いました。自分<sup>じ</sup>たちは、人間<sup>にんげん</sup>とあまり<sup>すがた</sup> 姿はか  
わっていない<sup>5</sup>。魚<sup>うお</sup>や、また<sup>そこ</sup> 底<sup>よか</sup>深い<sup>うみ</sup> 海<sup>なか</sup>の中にすん  
でいる、<sup>き</sup> 気<sup>あら</sup>の荒い<sup>6</sup>、いろいろな<sup>7</sup> けものなど<sup>8</sup>とく

1. [南の方の海にばかりすんでいるのではありません]不仅(是)寓居在南方的大海里。“ばかり”副助词。接体言或用言连体形，意为“大约”“只有”“少许”“仅仅”“光”。△家の中にばかりいないで、少しは外へ出るほうがいい。/不要光呆在家里，稍



# 红蜡烛与美人鱼

小川未明

## 一

美人鱼不仅寓居在南方的大海里，而且也生活在北方的大海中。

北方的大海，一片蔚蓝。有时，美人鱼登上岩石，眺望着四周的景色，歇息着。

月光透过云缝，凄凉地笼罩着海面，环顾四周，一望无际的令人生畏的波涛起伏翻滚着。

美人鱼默默地想着，这是多么可怕的情景啊！我们这些人鱼，与人的形态没有什么不同。与鱼和在海底生活的各种粗野兽类相比，无论在情

---

稍出去走走为好。 2. [青うございました]一片蔚蓝。形容词下接“ございます”时，词干最后一个假名要改为“う”。这是形容词的“う”音便。△朝晩はまだ寒うございます。/早晚还冷。 3. [うねうねと動いている]起伏翻滚着。“うねうねと”蜿蜒，弯弯曲曲。 4. [なんという、さびしい景色だろう]这是多么荒凉的情景啊！“なんと…だろう”惯用型。多么…啊！△桂林というところはなんという、素晴らしい風景だろう。/桂林这个地方的风景多么美丽啊！ 5. [あまり…ない]惯用型。表示委婉的否定。不太…，不怎么…。△今日はあまり暑くない。/今天不太热。 6. [気が荒い]词组。性情暴躁，粗野。

らべたら、どれほど人間にんげんの方に、心こころも姿すがたも似て  
いるかしれない<sup>1</sup>。それなのに<sup>2</sup>、自分じぶんたちは、  
やはり魚うおや、けものなどといっしょに、つめた  
い、暗くらい、気きのめいり<sup>3</sup> そうな海うみの中なかに暮くらさな  
ければならないというのは、どうしたことだろ  
うと思おもいました。

長い年月ながとしつきの間、話あいだをする相手はなしもなく、いつも  
明あかるい海うみのおもてをあこがれて、くらしてきた  
ことおもを思おもいますと、人魚にんぎょはたまらなかつたので  
あります。そして月つきの明あかるく照てらす晩ばんに、海うみの  
おもてに浮うかんで、岩いわの上うえに休やすんで、いろい  
ろな空想くうそうにふけるのがつねでありました。

「人間にんげんの住すんでいる町まちは、美うつくしいということ  
だ<sup>4</sup>。人間にんげんは、魚うおよりも、またけものよりも、人情にんじょう  
があつてやさしいと聞きいている。私わたしたちは、魚うおや  
けものの中なかに住すんでいるか、もっと人間にんげんの方ほうに  
近ちかいのだから、人間にんげんの中なかにはいってくらされな  
いことはないだろう<sup>5</sup>」と、人魚にんぎょは考かんがえました。

その人魚にんぎょは女おんなでありました。そして妊娠にんしんであ  
りました。……私わたしたちは、もう長いあいだ、こ  
のさびしい、話はなしをする者ものもない、北きたの青あおい海うみの  
中なかでくらしてきたのだから、もはや、明あかるい、

1. [どれほど…かしれない] 慣用型。不知有多少…。表示不

感或形态上，我们同人类不知道有多么相似。可是，我们还是不得不与鱼和其它兽类一起在那冰冷、阴暗、沉寂的大海中生活。这究竟是怎么回事呢！

长年累月，我没有谈话的伙伴，时时向往着能够在明朗的海面上生活，一想到这里，美人鱼就再也忍受不住了。于是，常常在明月当空的夜晚浮游到海面上来，在岩石上憩息，沉浸在各种幻想之中。

美人鱼想：“人居住的街镇是美丽的，听说人比鱼、比兽类都更富有情感、更善良。我们生活在鱼和兽类中，与人也非常相近的，所以我们能够到人类中生活的！”

这是一条怀了孕的美人鱼。……我们在没有谈心伙伴的北方的蔚蓝色大海里已经生活了漫长的岁月，所以也不再期望那明朗的、热闹的乡镇

---

可名状，难以言传的语感。△そうなるまでにはどれほど大きな代価を払ったかしれない。/到达这一步，不知道费了多大代价！

2. [それなのに] 接续词。尽管那样，虽然那样。相当于“それにもかかわらず”。△詳しく説明してやった。それなのに彼は一向分らない。/给他作了详细的说明。但是他一点也不懂。

3. [気がめいる] 词组。消沉，郁闷。 4. [人間の…ということだ] (听说)人居住的街镇是美丽的。“ということだ”惯用型。听说…，据说…。△かれは毎日早起きをするということだ。/据说他每天都起得很早。 5. [ないことはないだろう] 并非不…吧，不可能不…吧。△あの人ですらできることが君にできないことはないだろう。/连他都能做的事，你不可能不会做吧。

にぎやかな<sup>くに</sup>国は望<sup>のぞ</sup>まないけれど、これから生<sup>う</sup>まれる子どもに、せめても<sup>1</sup>、こんなかなしい、たよりない思<sup>おも</sup>いをさせたくないものだ。……

子どもから別<sup>わか</sup>れて、ひとり、さびしく海<sup>うみ</sup>の中にくらすということは、このうえもないかなしいことだけれど、子どもがどこにいても、しあわせにくらしてくれたなら、私<sup>わたし</sup>のよるこびは、それにしましたことはない。

人間<sup>にんげん</sup>は、この世界<sup>せ かい</sup>の中で、いちばんやさしいものだときいている。そしてかわいそうな者<sup>もの</sup>や、たよりない者<sup>もの</sup>はけっしていじめたり、苦しめたりすることはないときいている。いったん手付<sup>てづ</sup>けたなら、けっして、それを捨<sup>す</sup>てないともきいている。さいわい、私<sup>わたし</sup>たちは、みんなよく顔<sup>かお</sup>が人間<sup>にんげん</sup>に似ているばかりでなく<sup>2</sup>、胸<sup>どう</sup>から上<sup>うへ</sup>は、人間<sup>にん</sup>間<sup>げん</sup>そのまま<sup>3</sup>なのであるから——魚<sup>うお</sup>やけものの世界<sup>せ かい</sup>でさえ、くらされるところを思<sup>おも</sup>えば<sup>4</sup>——人<sup>にん</sup>間<sup>げん</sup>の世界<sup>せ かい</sup>でくらされないことはない。一ど、人間<sup>にん</sup>間<sup>げん</sup>が手<sup>て</sup>にとりあげて育<sup>そだ</sup>ててくれたら、きっと無<sup>む</sup>慈<sup>じ</sup>悲<sup>ひ</sup>に捨<sup>す</sup>てることもあるまい<sup>5</sup>と思<sup>おも</sup>われる……。

人魚<sup>にんぎょ</sup>は、そう思<sup>おも</sup>ったのでありました。

せめて、自分<sup>じ ぶん</sup>の子どもだけは、にぎやかな、

1. [せめても] 副詞。至少。△大学を卒業されなくても、せめ

了。但是，至少希望今后不能让出生的孩子们再有那种悲哀和孤独的忧虑。……

与孩子分离，孤独一人在海里凄凉地生活，这是最悲伤的了，然而，不论孩子在哪儿，只要过得幸福，这就是我最大的幸福。

听说，在世上人类是最善良的，她决不欺侮可怜的人和无依无靠的人，也不会跟人作难。还听说，一旦被人们收留，就绝不会被抛弃的。幸运的是，我们不仅容貌与人非常相似，而且上身与人一样，所以只要想到既然能在鱼和兽类的世界中生活，就不会不能在人的世界中生活。我想，一旦由人们收留抚养，就一定不会被狠心抛弃的……

美人鱼这样想着。

美人鱼至少希望自己的孩子能在热闹。明朗

---

ても専門学校は卒業したい。/纵然不能大学毕业，至少也想专科学校毕业。2. [ばかりでなく] 惯用型。不仅…而且。△今年には食糧が豊作ばかりでなく、落花生や甘蔗なども豊作だ。/今年不仅粮食丰收，而且花生甘蔗也获丰收。3. [人間そのまま] 与人一样。“まま”这里表示原样。△ありのままにいう。/照实说。4. [魚やけもの世界でさえ、くらされるところを思えば] 直译是：如果想到甚至能在鱼和兽类的世界中生活的话。“でさえ”相当于“でも”。甚至。△ヒマラヤは夏でさえ雪がある。/喜马拉雅山上，夏季甚至也覆盖着雪。5. [きっと無慈悲に捨てることもあるまい] 就一定不会狠心抛弃他。“あるまい”相当于“ないでしょう”。“まい”否定助动词，表示否定的推测。不(会)…吧。△明日はたぶん雨は降るまい。/明天大概不会下雨吧。

あ 明かるい、美しい町で育てて大きくしたいとい  
う情から、女の人魚は、子どもを陸の上に生み  
落とそうとしたのであります。そうすれば、自  
分は、ふたたびわが子の顔を見ることができぬ  
かもしれないが、子どもは人間の仲間入りをし  
て、幸福に生活をする事ができるのであろうと  
思ったのです。

はるか、かなたには、海岸の小高い山にある、  
神社の燈火がちらちらと波間に見えていまし  
た。ある夜、女の人魚は、子どもを生み落とす  
ために<sup>1</sup>、つめたい、暗い波の間を泳いで、陸の  
方にむかって近づいてきました。

## 二

海岸に、小さな町がありました。町には、い  
ろいろな店がありましたが、お宮のある山の下  
に、まずしげなろうそくをあきなっている店が  
ありました。

その家には、年よりの夫婦が住んでいました。  
おじいさんがろうそくをつくって、おばあさん  
が店で売っていたのであります。この町の人や、  
また付近の漁師がお宮へおまいりするときに、  
この店にたちよって、ろうそくを買って山への  
ぼりました。

而美丽的街镇上生活成长，因此，就想在陆地上分娩了，这样一来，或许再也不能见到自己的孩子了，但想到，孩子也许能跟人类在一起过幸福的生活。

在远方海岸边的一座小山上，神社的灯火映照在波浪上一闪一晃的。一天夜里，美人鱼为了分娩，在冰冷的、阴暗的波浪中朝陆地游去。

## 二

海岸边有座小镇，镇上有众多的小店。在某神社的山脚下，有一片出售廉价蜡烛的小店。

店里住着老夫妻俩。老头儿制作蜡烛，老婆婆出卖蜡烛。镇上的人们以及附近的渔夫朝拜神社时，就顺便到店里去买些蜡烛上山。

---

1. [子どもを生み落とすために] 为了分娩。“ために”惯用型。表示目的。为了…。△世界の先進的国家に入るためには、科学への進軍しなければならない。/要想踏入先进国家的行列，就必须向科学进军。 2. [お宮へおまいりする] 朝拜神社，“まいる”是“行く”“来る”谦让语。

山やまの上うへには、まつまつの木きがはえていました。その中なかにお宮みやがありました。海うみの方ほうから吹ふいてくる風かぜが、まつまつのこずえこずえにあたあって、昼ひるも、夜よるも、ごうごう<sup>1</sup>と鳴なっています。そして、毎晩まいばんのように、そのお宮みやにあがあったろうそくろうそくのほかほげが、ちらちら<sup>2</sup>とゆゆらめめいているのが、遠とおい海うみの上うへから望のぞまれたのであります。

ある夜よるのことでありました。おばあさんは、おじいさんにむむかって、

「私わたしたちが、こうしてくらしているのも、みんな神かみさまのおかげだ。この山やまにお宮みやがなかったら、ろうそくは売うれない。私わたしどもは、ありがたいと思おもわなければなりません。そう思おもったついでに、私わたしは、これからお山やまへのぼぼっておまいりをしてきましょう」といいました。

「ほんとうに、おまえのいうとおわたしりだ。私わたしも毎日まいにち、神かみさまをありがたれいいと心こころではお礼れいを申もさない日ひはないが。つい用事ようじにかまけて、たびたびお山やまへおまいりに行いきもしない<sup>4</sup>。いいところへ気がつきなされた。私わたしの分ぶんもよくお礼れいを申もしてきておくれ<sup>5</sup>」と、おじいさんは答こたえました。

おばあさんは、とぼとぼ<sup>6</sup>と家いえを出でかけました。月つきのいい晩ばんで、昼間ひるまのように外そとは明あかるかったのであります。お宮みやへおまいりをして、お



山上长满松树，林中有一座神社。海风吹打着松枝，昼夜呜呜地喧嚣着。每晚，从远远的海上眺望着供神的蜡烛，烛光时隐时现地摇晃着。

一天夜里，老婆婆对老头儿说：“我们能这样的生活，这是托神的福。如果这座山上没有神社的话，那就能卖蜡烛了。我们应该感谢神，因此，我以后要上山朝拜神社去。”

老头儿回答说：“的确，正如你所说的，我内心也天天默默地感谢神，但总是忙于事务，一直没有上山朝拜。你说得对，请你代我好好地谢谢神。”

老婆婆蹒跚地出去了，在月光皎洁的晚上，外面亮得象白昼一样。朝拜神社以后，老婆婆刚

- 
1. [ごうごう]表示声音又响又吵。喧嚣，吵嚷。△工場の中では大きな機械がごうごうと音をたてて回っているので、何を言っても聞えません。/工厂里大型的机器轰隆隆地开动着，讲什么都听不见。
2. [ちらちら]一晃一晃地，时隐时现地，断断续续地。
3. [お礼を申す]词组。致谢。“申す”是“言う”的谦让语。
4. [たびたびお山へおまいりに行きもしない]一直没有上山朝拜。“も”提示助词。这里是加强否定的语气。△あいさつが終ると、ふり返りもしないで行ってしまった。/寒暄完了，连头也没回就走了。
5. [いいところへ気がつき…きておくれ]你说得对，请你代我好好地谢谢（神）。“気がつく”词组。发觉，理会，想起。“ておくれ”比“てくれ”的语气柔和。
6. [とぼとぼ]蹒跚地，慢慢腾腾地。